

世界に翔く宮崎牛

2001年12月号

No.31



●第51回宮崎県畜産共進会開会式風景
(小林地域家畜市場にて・本誌2P)



●県共肉用種牛の部のグランドチャンピオン牛を出品された、綾町 有馬清人さん(写真中央)



●県共肉牛枝肉の部のグランドチャンピオン枝肉を出品された小林市 馬場牧場さん(代表 馬場幸成さん)



●松形知事より原監督へ宮崎牛を贈呈(11月8日市営球場にて)

12月号 目次

- 地域情報 晴天に恵まれ、第51回県畜産共進会開催される from.畜産会2
牛海綿状脳症(BSE)に関する宮崎県の緊急対策の概要4
牛の個体識別をはじめよう!~安心・安全な畜産物を食卓へ~5
from.県畜産課
- 21世紀の「宮崎牛」はどうなる! (繁殖牛飼養者調査結果第2報)6
from.県畜産課・子牛基金協会
- 種雄牛情報 新規導入牛紹介 兵庫から「芳隆福」号導入8
産肉能力検定(フィールド検定)情報「福之国」号好成績判明中9
from.家畜改良事業団
- 海外視察報告 オーストラリア・ニュージーランド肉牛事情視察報告10
- 今後の行事予定(登録検査日程・子牛セリ日程)12
from.家畜登録協会

情報誌「世界に翔く宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

地域情報

晴天に恵まれ、第51回 宮崎県畜産共進会が開催される

10月12日から13日にかけて、小林市 小林地域家畜市場において種畜の部が盛大に開催されました。秋晴れのもと、会場には多くの入場者があり、宮崎牛1頭分の無料試食コーナーやポニー乗馬などの様々なイベントが開催されました。

3年ぶりの開催となった今年の肉用種牛の部には、第1類から3類までの62頭の出品があり厳正な審査の結果、グランドチャンピオンには第3類首席に輝いた綾町 有馬清人さん出品の「きぬえ」号に決定されました。各類の首席は以下のとおりです。

- **第1類** ● 生後12ヶ月以上17ヶ月未満の「めす」
「さくら3」号 川南町 阿部洋子さん出品
- **第2類** ● 生後17ヶ月以上22ヶ月未満の「めす」
「ひなぎく」号 高千穂町 佐藤泉子さん出品
- **第3類** ● 繁殖雌牛とその娘牛1頭をもって1群とする (以下省略)
「きぬえ」号 綾町 有馬清人さん出品



会場では審査技術の向上と家畜改良の知識を修得してもらうための審査競技会が行われ、畜産後継者の部で田畑潤二さん(高原高等学校)、女性の部では船ヶ山恵子さん(宮崎中央農協)が優勝されました。



後継者の部 右から
 優勝 田畑潤二さん (高原高等学校)
 準優勝 田端昭人さん (高鍋農業高等学校)
 3位 佐藤秀章さん (高千穂高等学校)



女性の部 右から
 優勝 船ヶ山恵子さん (宮崎中央農協)
 準優勝 坂上むつ子さん (都城農協)
 3位 阿部洋子さん (児湯農協)

肉牛枝肉部門は11月6日から8日にかけて、株式会社ミヤチク高崎工場にて開催され、グランドチャンピオンには小林市 馬場牧場さん出品の「太郎」号に決定されました。「太郎」号は父牛「安平」、母牛の父「隆桜」、母方祖父「紋次郎」の血統で、枝肉重量488.9kg、枝肉歩留65.9%、ロース芯面積67cm²、BMS12、等級A5という成績でした。最終日のセリでは、枝肉単価7,000円、販売価格340万円の高価格で取引されました。なお、全体の平均は右記のとおりです。

出品頭数	生後日齢(日)	枝肉重量(kg)	枝肉歩留(%)	ロース芯面積(cm ²)	BMS	肉質等級構成比(%)					枝肉単価(円)	肉牛販売額(円)	
						5	4	3	2	1			
今年	110	907	467.0	64.6	63.4	7.0	35.5	50.0	13.6	0.9	0.0	2,309	1,078,479
昨年	100	894	455.6	64.4	63.0	7.0	37.0	54.0	7.0	2.0	0.0	2,611	1,189,612



開会式で選手宣誓を務めた小林市 山田真司さん



長年畜産に功労のあった方々の表彰が行われました。



長時間にわたり審査委員の先生方にはお世話になりました



肉用種肉牛の部における団体優勝は児湯郡市畜産農業協同組合連合会でした。



ふれあい広場では地元協賛会、コスモス牧場さんのご協力により搾乳体験などが行われ、多くのちびっこで賑わいました。



各会場で焼肉無料試食が行われ、1頭以上の「宮崎牛」があったという間に無くなりました。



枝肉会場

肉牛枝肉の部における団体優勝は西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会でした。



橋口忠旺氏（株式会社ミヤチク専務）の呼唱による枝肉のセリが行われました。

牛海綿状脳症(BSE)対策の概要

対策の柱	対策の内容	第一次緊急対策	第二次及び第三次緊急対策
1 安全性確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉検査体制の強化 ・防疫体制の強化 ・食肉処理に伴う廃棄物の適正処理 	<ul style="list-style-type: none"> ○BSE検査体制緊急整備事業 ・食肉衛生検査所の検査用機器等の整備及び嘱託検査員の配置 <p style="text-align: right;">予算額 144,780千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○畜産物流通合理化等施設整備事業 ・都城市営と畜場の冷蔵保管施設整備 <p style="text-align: right;">予算額 2,362千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家畜伝染病予防事業 ・BSE清浄度確認のための体制整備 <p style="text-align: right;">予算額 4,666千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○牛海綿状脳症病性鑑定処理施設整備事業 ・BSE検査機器及び焼却施設等の整備 <p style="text-align: right;">予算額 95,933千円</p>
2 経営支援対策	<ul style="list-style-type: none"> ・牛飼養農家への支援 ・関連事業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○大家畜経営維持緊急特別対策事業 ・融資枠 50億円 ・貸付金利 無利子 ・償還期限 1年以内 <p style="text-align: right;">債務負担額 56,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○牛海綿状脳症(BSE)緊急対策貸付【既存枠拡大】 ・融資枠 25億円 ・貸付金利 年1.90% ・信用保証料 年0.55% ・償還期間 10年 (うち据置1年半) 	<ul style="list-style-type: none"> ○BSE 対応肉用牛経営安定緊急対策事業 (肥育対策) ・影響緩和を図るための肥育牛導入対策 (繁殖対策) ・影響緩和緊急保留対策 ・子牛価格安定対策 <p style="text-align: right;">予算額 640,000千円</p>
3 理解促進対策	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者への正確な情報の提供 ・食肉などのPR・消費回復 	<ul style="list-style-type: none"> ○より良き宮崎牛づくり対策事業 ・正しい知識の啓発と安全性のPR <p style="text-align: right;">予算額 10,000千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○より良き宮崎牛づくり対策事業 (県外消費対策) ・大手量販店での消費拡大フェアの開催等 (県内消費対策) ・学校給食への食材提供等 <p style="text-align: right;">予算額 20,000千円</p>
予算額合計		154,780千円 (債務負担額 56,500千円)	762,961千円

第三次緊急対策までの予算額総計（債務負担含む）：974,241千円

安全・安心牛肉の消費拡大にご理解とご協力を！
一世帯1kg購買運動 実施中！

畜産関係団体連絡協議会
事務局 宮崎県畜産会

牛の個体識別をはじめよう！



安全・安心な畜産物を食卓へ



Q なぜ、いま、個体識別なのか？

昨年の92年ぶりの口蹄疫の発生に加え、本年9月に国内で初めての牛海綿状脳症(BSE)が確認されたことによって、畜産物の安全性に関する消費者の関心はいよいよ高まっています。

牛の移動情報が追跡できる仕組みを作り、問題が発生した時に的確に対応できる体制を通じて、良質な畜産物と共に消費者に安心を届けることは、畜産農家をはじめとする私達関係者に強く期待されているところです。

Q 平成13年度は何をするのか？

疾病の発生時に移動歴等を瞬時に把握するため、平成14年1月から3月の間に、国内全ての牛に「個体識別耳標」を装着します。

Q 個体識別耳標装着の効果

- ◎ 牛肉の安全性のPR \longrightarrow 伝染性疾病発生時の確実な個体追跡による情報提供
- ◎ 個体確認の簡素化 \longrightarrow 牛群管理の効率化
※農家、技術員、関係者がみんな同じ番号を使う！

「個体識別耳標」の装着は、1頭の牛を生涯唯一の番号で識別管理するシステムの第1歩です。

年度内に個体識別耳標を装着することが必要です。

安全な畜産物のPRのためにも、牛を飼養する皆様の御理解と御協力を御願います。



問い合わせ先；宮崎県農政水産部畜産課(0985-26-7141)

西臼杵支庁 (0982-72-2181)

中部農林振興局 (0985-26-7280)

南那珂農林振興局 (0987-23-4313)

北諸農林振興局 (0986-23-4509)

西諸農林振興局 (0984-23-3166)

児湯農林振興局 (0983-22-1365)

東臼杵農林振興局 (0982-32-6136)

21世紀の「宮崎牛」はなる?!

《繁殖牛飼養者意向調査結果 第2報》

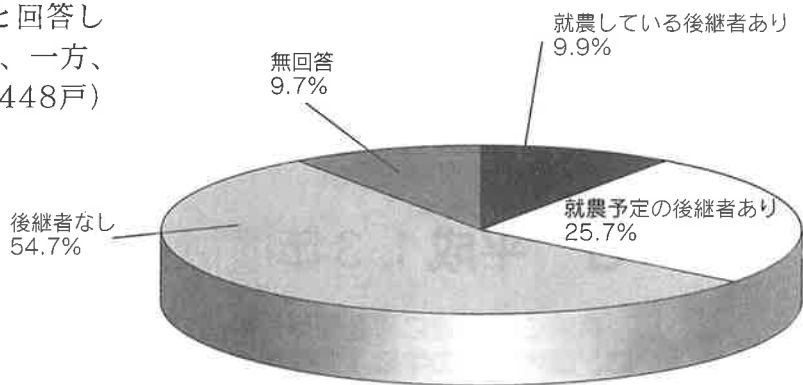
前月号から掲載しております、皆様方にアンケート調査を行った結果の第2報ですが、今回は、後継者の状況、飼養管理の状況、今後の経営計画についての内容を掲載します。

- 1.回収率 54.2% (8,129戸/約15,000戸)
- 2.平均年齢 59.4歳
- 3.項目 (1)後継者の状況 (2)飼養管理の状況 (3)今後の経営計画

(1)後継者の状況

後継者の有無について尋ねた結果が、次のグラフである(図1)。「就農している後継者あり」及び「就農予定の後継者あり」と回答した農家は35.6% (2,891戸)であり、一方、「後継者なし」の農家は54.7% (4,448戸)となっている。

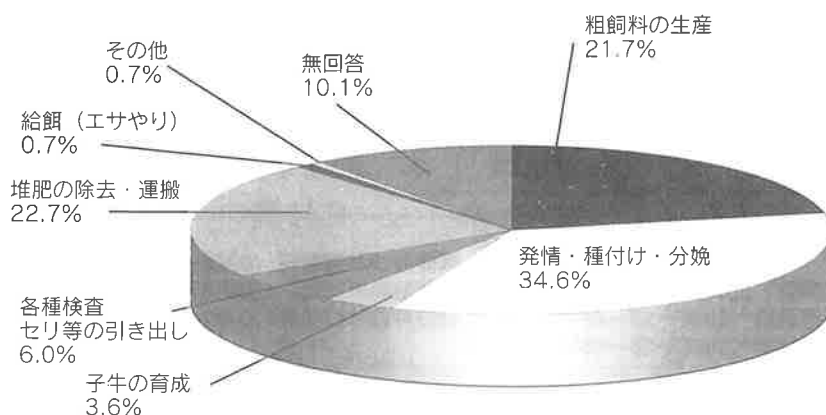
(図1)後継者の有無別農家数(構成比)
総数：8,129戸



(2)飼養管理の状況

飼養管理を行ううえで、最も苦勞が多いものは何かを尋ねた結果が、次のグラフである(図2)。「発情・種付け・分娩」が34.6%、「堆肥の除去・運搬」が22.7%、「粗飼料の生産」が21.7%となっており、作業や労働よりも、いかに1年1産を確保し、所得向上につなげるかという繁殖経営の根幹が最重要問題(課題)となっている。

(図2)飼養管理で最も苦勞の多いもの(構成比)
総数：8,129戸



(3) 今後の経営計画

今後の経営計画について、経営主の年齢別にみたのが、次の表1である。30歳未満の経営主層において、「拡大したい」が57.7%と半数以上を占め、肉用牛経営にかける意欲の高さを伺わせる結果となっている。また、60歳代及び70歳以上においては、逆に、「縮小する・やめる」がそれぞれ19.1%、35.7%と高い結果を示している。

(表1) 経営主の年齢別、今後の肉用牛経営計画別農家数 (上段：実数/下段：%)

	合 計	拡大したい	現状維持	縮小する やめる	無回答
合計	8,129 100.0	1,327 16.3	4,964 61.1	1,453 17.9	385 4.7
30歳未満	26 100.0	15 57.7	9 34.6	2 7.6	0 0.0
30歳代	316 100.0	125 39.6	162 51.3	23 7.3	6 1.9
40歳代	1,321 100.0	396 30.0	765 57.9	128 9.7	32 2.4
50歳代	1,655 100.0	420 25.4	1,057 63.9	132 8.0	46 2.8
60歳代	2,820 100.0	270 9.6	1,886 66.9	538 19.1	126 4.5
70歳以上	1,504 100.0	53 3.5	815 54.2	538 35.7	98 6.5

さらに、地域別にみると(表2)、平地地域においては、全体(合計)値に比べ、「拡大したい」農家の割合が2.0%高く、また、山間地域と中間地域では平地地域に比べて「縮小する・やめる」が5.0%高くなっている。

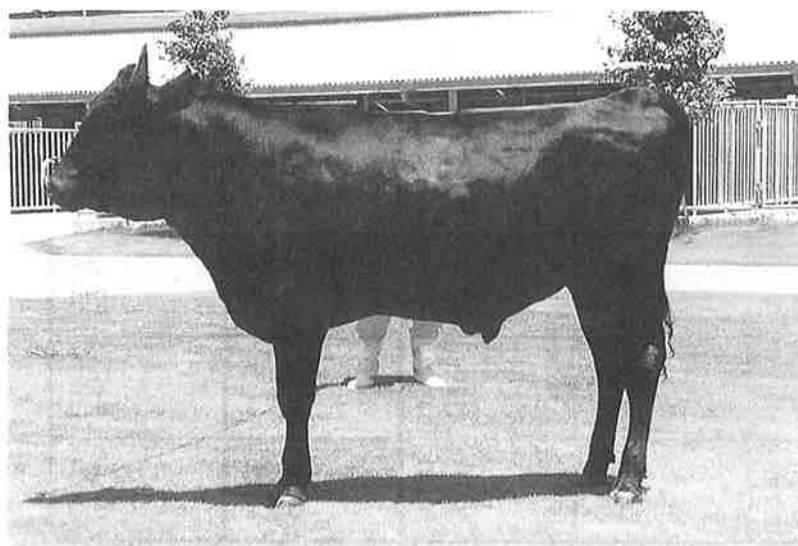
(表2) 地域別、今後の肉用牛経営計画別農家数 (上段：実数/下段：%)

	合 計	拡大したい	現状維持	縮小する やめる	無回答
合計	8,129 100.0	1,327 16.3	4,964 61.1	1,453 17.9	385 4.7
山間地域	2,143 100.0	330 15.4	1,310 61.1	406 19.0	97 4.5
中間地域	4,003 100.0	635 15.9	2,406 60.1	766 19.1	196 4.9
平地地域	1,983 100.0	362 18.3	1,248 62.9	281 14.2	92 4.6

新規導入牛紹介

兵庫から「芳隆福」号導入

宮崎県では、本年6月兵庫県より「芳隆福」号を導入しました。「芳隆福」号の父谷福土井は兵庫県の基幹種雄牛で、産子の中では、上福(宮崎)・美津福(国)・松福美(国)・牛若丸(長崎)など全国に銘種雄牛を数多く輩出しており、但馬牛の中では発育増体も優れた種雄牛です。又、母の父安幸土井は兵庫県の中でも特に資質の優れた種雄牛で、県内において数多くの繁殖雌牛を残しており、さらに「芳隆福」号の兄(全兄弟)の枝肉実績ではA-5・BMS No.10と素晴らしい成績を上げています。このように「芳隆福」号は肉質・増体・資質などのあらゆる面から期待の持てる種雄牛であると考えられます。



【名 号】 芳隆福
 【生年月日】 H12.3.20
 【産 地】 兵庫県美方群

谷福土井 高950	安谷土井 育85	安美土井 育48	田安土井 育6
		いつひめ 高42150	ふくむすめ 育498
			田森土井 黒7663
	きくつる 高29920	菊美土井 育5	きそひめノ一 黒397298
			田尻 予1507
		しょうふく三 黒369679	きくよノ一 育119
いつよ 原807184	安幸土井 育169	安美土井 育48	田福土井 黒2685
		みつふく 育1447	しょう福 本13357
			田安土井 育6
	みさち3 原369420	安美土井 育48	ふくむすめ 育498
			菊美土井 育5
		さちこ 育4692	ふくよ 高1459
		田安土井 育6	
		ふくむすめ 育498	
		茂茅波 育15	
		とくかね 育496	

● 産肉能力検定(フィールド検定)情報 ●

『福之国』号 好成績判明中

宮崎県では、平成12年度で間接検定はすべて終了しておりますが、昨年度検定の行われた種雄牛のフィールドでの枝肉成績が現在判明中です。

そこで今回は、昨年脂肪交雑日本一の成績を納めました『福之国』号のその後の枝肉成績を紹介します。表-1のように『福之国』号の産子はこれまでに去勢12頭・雌22頭の合計34頭が枝肉出荷（10月5日現在）され、上物率（4等級以上）88%と素晴らしい成績を上げています。中でも表-2のように母方が安平・福桜・隆桜に交配された産子では、全体の成績より良好な結果が判明しています。農家の皆さんも、母体の更新とともに適正交配に心がけましょう。

表-1 フィールド検定成績【福之国】

性別	頭数	枝肉重量 kg	コース芯面積 cm ²	バラの厚さ cm	BMS(No) 平均	上物率(%) 4等級以上
去勢	12	423.7	59.3	8.1	7.3	83.3
雌	22	396.5	53.5	8.4	6.9	90.9
総平均	34	406.1	55.6	8.3	7.1	88.2

表-2 安平 福桜 隆桜に交配されたもの【福之国】

性別	頭数	枝肉重量 kg	コース芯面積 cm ²	バラの厚さ cm	BMS(No) 平均	上物率(%) 4等級以上
去勢	10	425.1	61.6	8.1	8.0	100.0
雌	17	395.3	54.9	8.5	7.4	94.1
総平均	27	406.3	57.5	8.3	7.6	96.2

古い器具機材さがしています

県家畜改良事業団では肉用牛に関する様々な情報の収集と蓄積につとめていますが、これらを活用し畜産農家の経営安定に少しでも寄与するための施設として、「研修館」を建設しました。この研修館は、研修室と資料展示室の二部屋からなり、研修室は60名収容で視聴覚機器を備えており、研修会、講習会等みなさまのご利用をお待ちしております。

資料展示室には、宮崎牛のルーツが一目で分かるよう肉用牛に関する年表、歴史資料、写真、器具器材等を展示すると共に、最新の情報についても提示出来るよう計画しています。

つきましては、歴史を重ねた展示品（写真、人工授精器具、農具、書類等）をお持ちの方は、ぜひご寄付か、お貸し頂けませんでしょうか？

ご協力を宜しくお願いします。

お問い合わせは TEL 0983(22)3020

オーストラリア・ニュージーランド肉牛事情視察報告

社団法人 宮崎県家畜登録協会



にオーストラリアやニュージーランドで改良増殖され、肉牛生産に用いられていると考えられます。そこで、今回の研修では、海外へ持ち出された和牛遺伝子を増殖させ利用していると考えられる世界最大の牛肉輸出国であり、わが国にも最大の輸出量を誇るオーストラリアの肉牛事情並びに肉牛戦略を視察調査することが第一の目的です。また、ニュージーランドは、近年、一時の和牛熱は冷めているようですが、引き続き、和牛協会が活動しており、和牛飼育農家も小規模ながら生産を続けているので、その動向を調査するのが第二の目的です。

訪問先は、和牛協会、研究機関、生産農家、フィードロット、和牛のブリーダー、日本向け食肉工場などがありました。視察地の詳細につきましては割愛し、今回の視察研修で見聞しましたことを報告致します。まず、オーストラリアとニュージーランドの肉牛産業の基本は風土



アッシュレー・パーク・フィードロット

1000頭規模、F1肥育の委託肥育

平成13年7月3日から7月14日までの12日間、社団法人全国和牛登録協会が輸出された和牛に関する海外調査として企画し、それに併せて社団法人宮崎県家畜登録協会が「第5回肉用牛特別指導者養成事業」と銘打って実施された『オーストラリア・ニュージーランド肉牛事情視察』に、本県から畜連、農協、家畜改良事業団および家畜登録協会の技術員10名（団長、高千穂地区農協畜産部 甲斐部長）が参加しました。

これまでに海外に持ち出された300頭近い和牛遺伝子は、アメリカを基点

ICM・フィードロット



・25000頭の収容能力で現在17000頭肥育
内 和牛関係(F1~F7)は12%

の特徴を活かした牧草肥育であります。そして、その風土に似合うアンガスやヘレフォードなどの品種が中心に飼育されています。ただし、ニュージーランドは伝統的に乳牛産業といった背景もありました。そのような中で和牛遺伝子を用いての肉牛産業は一握りの限られた存在であります。日本の21倍の広さをもつオーストラリアの大地でしっかりとした鼓動を響かせているのも事実であります。特に次のようなことを確認することができました。

・日本人の手によって日本を旅立った和牛がアメリカを経由し、オーストラリアおよびニュージーランドにいた。更に、日本の和牛農家のために使う目的で製造されたはずの精液もまた海を渡っていた。

・和牛および精液がフルブラッド和牛（100%和牛）生産に使われたり、アンガスの雌との交配によるF1生産からF2、F3、F4、F5と世代を進めピュアブレッド（32分の31以上の和牛）生産に使われたりして、和牛の遺伝子は着実に裾野を広げていた。

・日本の農家の手から離れて行った牛たちの後代が、素牛や枝肉となって日本市場に戻って来ている。

・オーストラリアやニュージーランドにおいてはアウトロー的存在であろうが、和牛に想いを馳せビジネスを展開している人たちがいた。

・和牛の遺伝資源と同時に、お金（出資）やノウハウを運ぶ日本人がいる。そして、日本企業とブリーダーの合作の牛舎構造や飼育管理が展開されていた。

・日本市場で3等級をターゲットとするマーケティングのプロ組織があった（MLA）

・遺伝能力を評価しグローバルに展開しようとする優秀なプロジェクトチームがあった（ABRI）

・ニュージーランドの和牛については、経済面や販路面および遺伝資源の点から下降傾向にあった。

このように、実際に和牛を目の前にし、和牛遺伝子活用の事実、予想を上回る和牛情報を有しながらも更に和牛情報に飢える人たちの存在、私益のために和牛遺伝子を利用している日本人の存在など、いずれも日本市場をターゲットとしてビジネス、即ち、金儲けをたくらんでいるという事実を確認できました。私たちは、これらの事実をしっかり受け止め、惑うことなく、そして、自分たちの真の姿を見失うことなく心身（人、牛）を鍛えグレードアップさせることも重要であると感じました。

また、日本との食文化の違い、自然環境の違いを直に体験し、『和牛は、風土の、産物である』という言葉に反芻する毎日でありました。先人たちの知恵と汗で作出された世界に誇る、風土の産物『和牛』に磨きをかけ、かつ、和牛と和牛肉が受け入れられている風土（食文化や社会環境）の保持に知恵を出し努力することが私たち和牛産業に携わるものに与えられた使命であると思いました。

おわりに、現在、日本国内の畜産情勢がBSE問題や更なる経済不況の影響で晴れ間の見えない厳しい状況にあることを承知の上で、視察終了直後に団員で取り纏めたものから今回報告させて頂きましたことを申し添えます。



鉄板焼ステーキ

宮崎牛

ミヤチク

住所: 宮崎市新別府町前浜1401-255

TEL: 0985(28)2914

FAX: 0985(28)2920

営業時間 11:00~15:00
(14:30オーダーストップ)
17:00~22:00
(21:30オーダーストップ)

定休日: 当面の間、月曜日は休業



グランドオープンは 12月4日 火 です

今後の行事予定 (1~3月)

登録日 子牛セリ市開催日 青の文字: 黒毛和種成雌牛登録検査日程

1月	2月	3月
<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木</p> <p>元旦</p> <p>成人の日</p> <p>東臼杵 北浦北川北方 延岡門川白高 東郷南郷西郷 椎葉・諸塚</p> <p>東諸県 綾高岡 国富城</p> <p>西諸県 高原 西小林</p> <p>宮崎 都 児湯 串間 小林 高千穂 延岡</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28</p> <p>金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木</p> <p>西諸県 小林 えびの 須木 野尻</p> <p>建国記念の日</p> <p>北諸県 三股山之口 高城庄内 山田西岳 梅北姫城 安久五十市 高崎 志和池・沖吉</p> <p>都城 宮崎 小林</p>	<p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日</p> <p>児湯 西都 川南 都農</p> <p>南那珂 串間大束 南郷白南</p> <p>宮崎 宮崎 佐土原 田野清武</p> <p>春分の日</p> <p>西臼杵 高千穂五ヶ瀬 日之影岩戸 田原上野</p> <p>都城 延岡 高千穂 小林 串間 児湯</p>

発行所 宮崎県畜産会
0985-24-2674